

第3章 主要指標の見通し

(1) 新市の推計人口は増加の見通し

新市の推計人口は、「日本の市区町村別将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）によると平成27年（2015年）には668,054人に達すると推計されています。

わが国の人口は、将来的には減少していくと予測されており、岡山県の人口も1,950,828人から平成27年には1,900,725人に減少すると推計されていますが、新市においては、御津町では減少傾向があるものの岡山市、灘崎町では増加し、新市の総人口のピークは平成27年ごろになると推計されています。

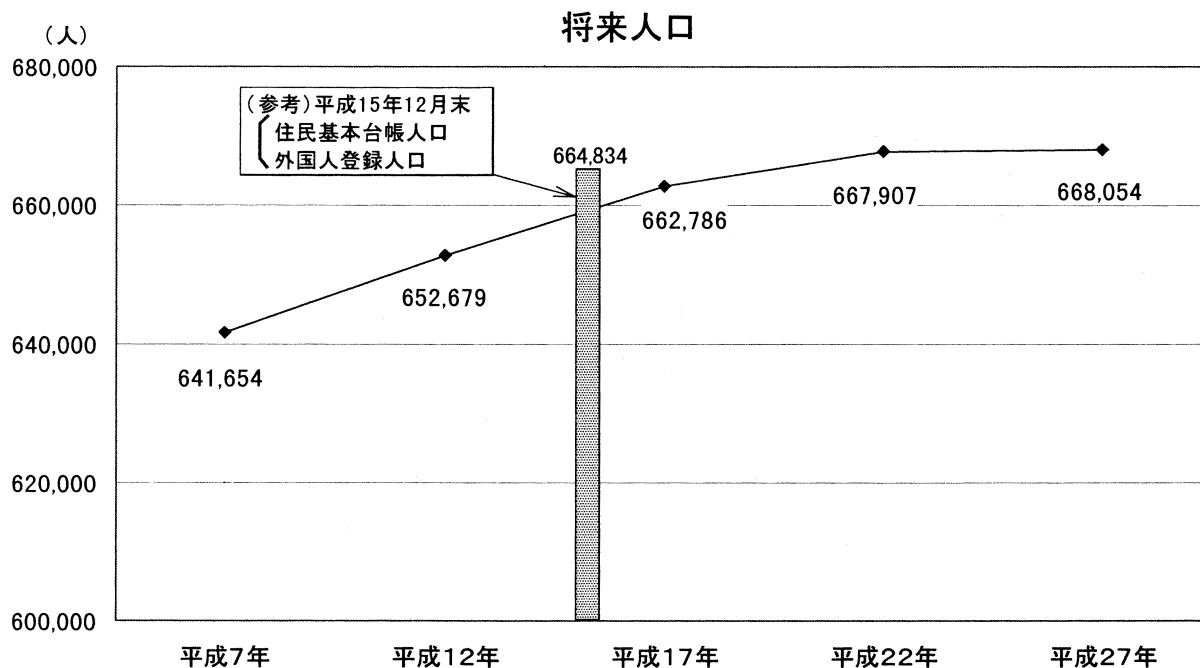
なお、平成15年12月末現在の新市域の住民基本台帳人口と外国人登録人口の合計は664,834人となっており、平成17年の推計値662,786人を既に上回っています。

人口増加を都市の魅力度のバロメーターと位置づけ、今後、新市においては、魅力ある都市づくりにより、さらなる定住人口の増加をめざしたいと考えています。

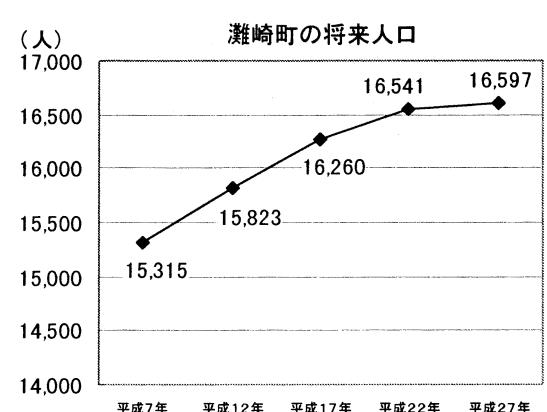
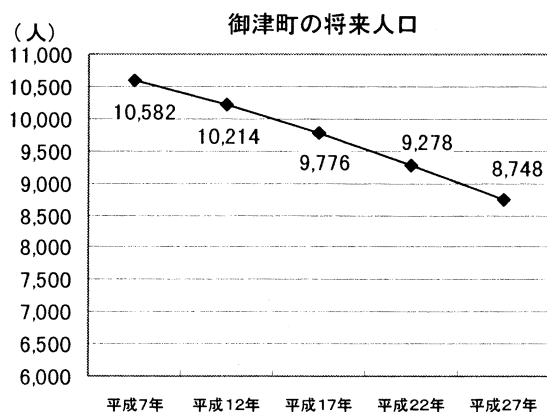
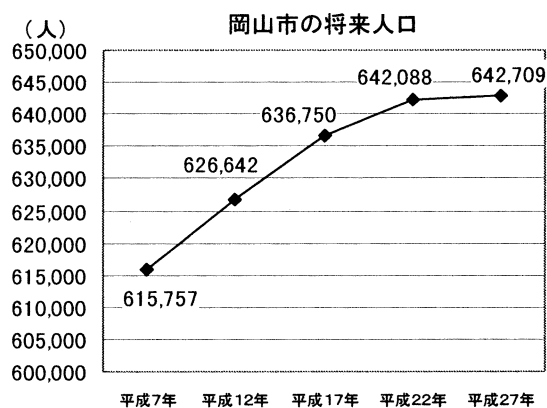
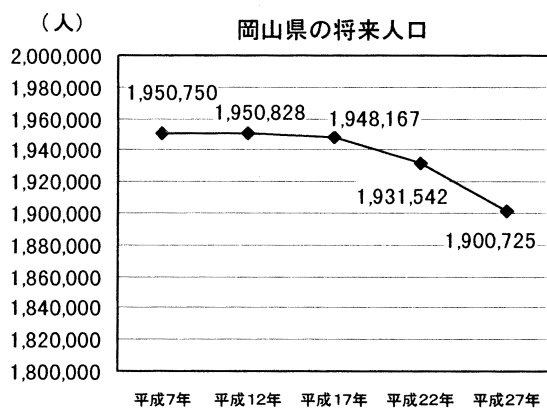
新 市 の 推 計 人 口 (単位：人)

区 分		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
岡 山 県 総 人 口		1,950,828	1,948,167	1,931,542	1,900,725
各 市 町	岡 山 市	626,642	636,750	642,088	642,709
	御 津 町	10,214	9,776	9,278	8,748
	灘 崎 町	15,823	16,260	16,541	16,597
新 市 計		652,679	662,786	667,907	668,054

(注) 日本の市区町村別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所、平成15年12月推計資料）による。



(注) 平成7～12年は国勢調査，平成17～32年は日本の市区町村別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）による。



(注) 平成7～12年は国勢調査，平成17～32年は日本の市区町村別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）による。

(2) 少子・高齢化は確実に進行する見通し

新市の年齢別の将来人口を推計すると、少子・高齢化は確実に進行し、特に高齢化率においては、平成27年に24.0%まで上昇するものと推計されます。

したがって、少子・高齢社会の到来に備え、医療・介護等、福祉関係費をはじめとする行政経費の増大への対応、また、関連する行政サービスの向上を図る必要があります。

新市の年齢階層別推計人口

(単位：人)

区 分		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
年 齢 別	年少人口 (0～14歳)	100,133	98,215	96,967	93,391
	構 成 比	15.4%	14.8%	14.5%	14.0%
	生産年齢人口 (15～64歳)	443,181	441,365	430,564	413,910
	構 成 比	67.9%	66.6%	64.5%	62.0%
	老年人口 (65歳以上)	109,223	123,206	140,376	160,753
	構 成 比	16.7%	18.6%	21.0%	24.0%
	合 計	652,537	662,786	667,907	668,054
	構 成 比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(注) 日本の市区町村別将来推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所) による。